

## Just the Way You Are



石狩医師会  
石狩中央整形外科

ひのひろゆき  
日野浩之

皆さん、明けましておめでとうございます。今年  
は寅年で、生まれて60年目ということで原稿の依頼  
が回ってきました。高尚な趣味もないので、ただ思  
っていることを取り留めもなく書きます。しばしのお  
付き合いをお願いします。めっきり外出の機会も減  
り、やはりネットの時間が長くなります。しかし、そ  
のおかげというかコロナ騒動に関しても人生観的な  
ことに関して、ネット上の師匠が増えました。病  
気の原因は体の内側にあるという田頭秀悟先生の  
「たがしゅうブログ」、いつ死んでもいいように生  
き抜くのが大事だという萬田緑平先生のTwitterや  
note、人は家畜になっても生きる道を選ぶのかとい  
う森田洋之先生のメルマガなどは本当に参考になり  
ました。今の自分の考えは、マスクにしてもワクチン  
にしてもやりたい人はやればいいし、必要ないと思  
う人はやらなくていいというスタンス、自分の人生  
なのだし、自分の体なのだから自分で決める、自然  
派ですかね。快食、快眠、快便が基本、朝にバナナ  
のような一本糞を毎日出せていたらOKです。強  
制的に何かをさせられるのが大嫌い。60年の人生  
経験と考え方を最大限使って、結論を出して生  
きていきたい。

ススキノも行けず、麻雀も面子集まらず、ライ  
ブハウスもダメ、ハワイ旅行など論外、このイ  
ベントの全くない2年間で唯一の楽しみがゴルフ  
でした。あまり上手ではないのですが、これがこの  
年になると幸いです。少ないながらも伸び代があ  
るのです。5年前から再びレッスンを週一で受  
けはじめ、昨年、自己ベストが出た。今年も自  
己ベストが出せるように目標です。

昭和の人が好きです。いろいろなことがいい加  
減で、人に対して寛容だった。両親の庇護のもと  
、何の不安もなく子供時代を生きていました。今  
はどうか、全ての子供が安心して暮らせる時代  
にしたい。生物を「遺伝子の乗り物」として定  
義した学者がいましたが、生物の価値は次の世  
代につなぐことだという、きっちりつないでい  
きましょう。

終の棲家も決まり、最近住所連絡としての年  
賀状も書かないので、読んでくれる知り合いが  
いたら、これが新年の挨拶です。今年北京オリ  
ンピック、カタールワールドカップと楽しみ  
です。ライジングやジョインも復活するでし  
ょう。ケツメイシ、竹原ピストルのライブも  
行きたい。表題のJust the Way You Areは  
我々世代ならBilly Joel、少し下の世代  
ならBruno Marsですよね。ありのままの  
自分で生きましょう。今年も皆さんに幸あれ。

## 無題



北海道大学医師会  
市立札幌病院

たけいとしき  
竹井俊樹

2014年の会員のひろばに続き、北海道医師会  
新年恒例の新春随想に依頼をいただき恐縮して  
います。小生4回目の年男(48歳です)になり、人  
生の半分を医師として過ごしたことになります。  
考えてみたら感慨深い(それでも小生はまだ若  
僧のカテゴリーなわけですが…)ことだと思  
いました。まだ臨床研修制度ができる前で、ち  
ょうどPET(ポジトロン断層撮影)が北海  
道にも入ってきた時代でしたので、えいやと  
北大の核医学講座に入局し、将来は細く長く  
研究者をしていければいいかなと思っていま  
した。が、2年目には何を思ったか研修病  
院として既に名声のあった日鋼記念病院に  
スーパーローテートで潜り込み、1年間救急  
等にもまれて北大に戻り、核医学の病棟・読  
影業務や学生実習をしながら国際・国内の  
学会発表をし始め、大学院を飛び級制度を使  
って3年で修了し、その後すぐに旭川厚生病  
院でPET検査の立ち上げを行いながら血管  
造影等やターミナルケアも修練し、再度北  
大に戻って〇〇医長を4つも掛け持たされ  
鬱病になりそうになりそれも乗り越え、い  
よいよ独ミュンヘン留学を果たし(よろし  
ければ会員のひろば拙著参照ください)、帰  
国したらポストが無くなっていたため北大を  
離れたので大きな研究はほぼできなくなり  
、画像診断専従(CT、MRI、RI、PET等)  
として北海道がんセンターを経て現職場(も  
PET検査の立ち上げが目的)で6年経  
とうとしています。5年前にはなんと所属し  
ていた核医学講座や同門会が消滅(正確には  
講座は兄弟の画像診断学教室に吸収され、  
同門会は消滅)という、医局を抜かれる先  
生方は多いと思いますがそうではない経験  
をすることになりました。更に画像検査の  
機器・技術初め医療そのものの急速な進  
化や、機構による専門医制度の激変およ  
び、2011年の東日本大震災、2018年  
の胆振東部地震、2020年からの新型  
コロナ受け入れ開始と災害による怒涛の  
展開(これは諸先生方も同じか)の中  
でハードに仕事してきたつもりです。そ  
の中でいつも心掛けてきたことは「病  
む患者さんのために少しでもより良い  
方向になるよう働かねば」ということ  
でした。良かれと思って行ったことが  
必ずしも結びつかなかったことも多  
々あったし、現在の仕事は直接患者  
さんを治すというわけではないです  
が、今後もできる限り初心を忘れ  
ず仕事をしていこうと思った次第  
です(とはいっても未来のことは誰  
にも分かりません…)。これまでお  
世話になった先輩後輩医師(父・叔父  
含む)やコ・メディカルの方、事務  
の方、趣味友達の皆様にも感謝  
です。駄文最後まで読んでいただ  
いた方には何か申し訳ないです。  
引き続き医師会にはお世話にな  
ります。今年もよろしくお願いいたします。